

かたの



R4. 10.25
形埜小学校
校長室だより



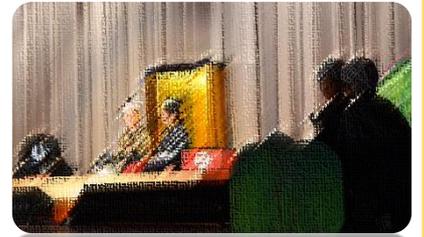
1年生「にんじゃでござる」

忍者「得意技披露」の場面がありました。放課や下校後も、運動場でよく練習していましたね。たくさんの台詞を本当によく覚えました。「シュツ、シュツ、シュツ」の手裏剣さばきもとてもかっこよかったです。



2年生「おしゃべりなたまごやき」

全員の堂々とした演技、指の爪の先まで「なりきった」大きな動きは圧巻でした。「お～さまは～たま～ごが、だ～い～す～き♪」のフレーズが頭から離れなくなっていましたよ…。この歌も練習初日から、みんなばっちり覚えて、リリリでしたよ。



3年生「水戸黄門」

最初は使ったことのない言葉がたくさんで戸惑っていました。が、繰り返し練習し&刀でやり合うシーンも、ちゃんと動きを決めて、切られ方にもこだわって、江戸時代の世界を創り上げました。台詞のない時の動きも光っていましたよ。



日近太鼓(形埜小版)

太鼓指導さん(太鼓指導)が木曜日に見てくださって「みんな、お家で練習していたことが伝わってきた。短い間でよく覚えたね」と話してくださいました。チーム全員での通し練習 2 回のみで本番を迎えました。「形埜を愛する心」は届いたと思います。



4年生「花さき山」

だれかのために心を遣う「やさしい心」を表現したいと、台詞の言い回しや歌や小道具にこだわりました。なんと、手話も覚えて、歌を表現しました。歌っている時の優しい表情が、心に残ります。



5年生「Trouble Maker！」

コメディータッチの演目～練習時も、観ている人をいかに笑わせられるかと、細かな動きや「間」にこだわって試行錯誤していました。山の学習で得たその技？が生きていましたよ。練習当初からみんな楽しんでいましたね。



6年生「モモと時間どろぼう」

一人二役が何人もいました。役の演技分けも大変だったことでしょう。&灰色の男たちのクールな言葉や動きと温かな人間の違いもよく分かりました。心の変容も見事に演じられました。長い台詞がたくさんありましたが、みんなすらすらと、そして堂々と言い切っていましたね。お家で相当練習したことでしょう…。



456年生 学芸会「支え隊」

◆開会のことば

6年

◆閉会のことば

6年

～幕間の大道具まつろチームの動きの機敏さ・チームワーク、アナウンスの流暢さ・お客様の丁寧な案内も褒めていただきましたよ。「支えること」の存在の大きさや大切さを知る機会となったと思います。みんなが、気概をもって楽しく取り組んでいる姿が素敵だと思いました！

見えない仕事・支える仕事を喜んでできるそのハートが素敵です！